

令和8年度多様な働き方支援事業

質問に対する回答書

	質問	回答
1	「生成AI活用セミナー」で使用する生成AIのサービス（Gemini,ChatGPT,Copilot等）について、なにか指定はありますでしょうか？	指定はありませんが、初心者向けのセミナーのため、初めての使用でも扱いやすく、受講者が無料で使用できるものを想定しています。
2	「スマホでできる動画編集セミナー」「生成AI活用セミナー」で使用するスマホやパソコンから利用するWiFiネットワークは、会場で使えるものを使用する前提でよいか？独自にWiFi環境を用意する必要はあるか？	会場に利用者向けのWiFi環境が整備されている場合は使用して差支えありません。ご提案の内容により、必要なWiFi環境をご用意ください。
3	企画提案書は、長辺綴りとあるが、A4を縦向き使用、横向き使用のどちらでもよいか？	どちらでも構いません。
4	実施説明書 1ページ「3 参加資格（1）」について、参加資格の要件である「国、地方公共団体及び民間企業等で類似業務の実績があること」についてお伺いします。弊社では、過去3年以内の地方公共団体（都道府県）向けの業務として、以下のような実績を有しておりますが、これらは本プロポーザルにおける「類似業務」として認められますでしょうか。 【過去の受託業務の概要】 ※本回答書では実績の記載は省略します。	類似業務として差支えありません。

	質問	回答
5	仕様書 1～3 ページ「5 委託業務の内容」について、本事業の各セミナーでは多岐にわたる専門的な知識が求められますが、過去の類似事業の実績等を踏まえ、市として想定されている講師謝金の水準（1回あたり、または1時間あたりの目安金額など）の傾向がございましたらご教示いただけますでしょうか。	講師謝礼金の設定・支払も含めて委託業務の中で実施していただいております。本市が定める特定の水準はありません。
6	仕様書 2 ページ「5 委託業務の内容（1）実施方式」について、エントリー講座において、「欠席者には、セミナーの内容をアーカイブ視聴できる体制を整え、視聴回数を把握できるようにすること」と記載されておりますが、市として指定するシステムやセキュリティ等の要件が別途ございますでしょうか。	（1）多様な働き方の手法を学ぶセミナーにおける欠席者のアーカイブ視聴において、指定するシステムやセキュリティ等の要件はありません。YouTube 等の動画配信サービスでの限定公開など、セミナー欠席者に限定した視聴体制を想定しています。
7	仕様書 1～3 ページ「5 委託業務の内容」について、各セミナーの定員数が未達だった場合、追加開催での補填などは想定されておりますでしょうか。	追加開催は想定しておりません。各セミナーへの集客達成に向けたご提案をお願いします。
8	仕様書 2 ページ・3 ページ「5 委託業務の内容 託児」セミナー開催時の託児準備について2点お伺いします。1点目として、託児の手配にあたり、市から特定の託児業者の斡旋や、過去の類似事業で利用実績のある業者の指定はありますでしょうか。2点目として、各セミナーにおける託児の利用人数の目安や、1回あたりの預かり定員（上限）の想定はございますでしょうか。また、お預かりする対象年齢については、昨年度の事業と同様に「生後3ヶ月以上の未就学児」を想定して手配すればよろしいでしょうか。	託児事業の斡旋や指定はありません。託児希望者数に基づいた託児体制の確保を想定しています。対象年齢等の託児条件の設定も含め、ご提案ください。

9	<p>仕様書 3ページ「5 委託業務の内容 (2) 多様な働き方の関連セミナー」「スマホでできる動画編集セミナー」および「生成AI活用セミナー」における、参加者の最終的な到達目標（ゴール）についてお伺いします。両セミナーは「実践的に活用できる内容」とされておりますが、各セミナーの終了時点で、参加者が作成した動画やAIによる成果物を、そのまま実際のビジネス（自社広報や業務等）で使用できる水準まで完成させることを求めておられますでしょうか。あるいは、まずは基本的な活用方法を体験・習得するレベルを想定されていますでしょうか。また、動画編集セミナーについて「ウーマンワークカフェ北九州の周知活動の一環としても実施する」と記載されておりますが、例えば参加者が作成したPR動画を、実際に市の広報媒体等で活用するような展開を想定されているのでしょうか。</p>	<p>ビジネスでの活用を念頭に置きつつ、まずは基本的な活用方法を体験・習得するレベルを想定しています。</p> <p>参加者の動画作品を業務用として活用することは想定していません。</p> <p>本セミナーを契機として、これまで当施設に馴染みのなかった層に対し、『ウーマンワークカフェ北九州』の認知度向上を図るとともに、今後の利活用の促進に繋げることを目的としています。</p>
10	<p>仕様書 1～3ページ「5 委託業務の内容 実施方式」についてです。各セミナーの実施方式について「原則対面」と指定されておりますが、専門的な講師を招聘する際の交通費等の経費を抑え、予算内でより質の高い講座を提供するため、例えば複数回開催されるコースのうち1回のみをオンライン形式（あるいは講師のみがオンライン登壇するハイブリッド形式）で開催するような提案は認められますでしょうか。</p>	<p>原則として対面形式による開催を想定しております。実施にあたっては、対面参加を促進するための効果的なインセンティブの提案を求めるものですが、併せてオンライン形式を活用した実施手法の提案を妨げるものではありません。</p>